令和８年10月19日

【国税庁】日本産酒類（主に日本酒）の冷蔵混載輸送の実証調査事業

少量からニューヨークへ。 冷蔵混載輸送　参加事業者募集！

～保冷したまま日本のおいしさをアメリカへ！～

スケジュール（全４回）

第１回　募集終了

第２回　12月１日(火)　日本（神奈川県横浜市）出航予定
予約期限（11月13日(金)）搬入期限（11月20日(金)）

第３回　12月後半日本出航予定　（11月中旬更新予定）

第４回　１月後半日本出航予定　（12月中旬更新予定）

《こんな事業者におススメ》

- ✓ ニューヨーク向けに少量輸出したい
- ✓ 現地テスト販売を行いたい
- ✓ 要冷蔵商品を輸出したい

小口にぴったり混載便

コンテナ１本に満たない少ない物量でも FCL（コンテナ１本）を仕立てたり、航空便を利用したりと高いサービスの選択肢しかなくお困りだったお客様は、是非ご利用ください。
当サービスなら混載便での手配となるため、少ない物量の場合も大きさ分の料金だけで輸送ができます。

ずっと保冷で品質保持

冷蔵コンテナ（リーファーコンテナ）を使用し、コンテナ内の温度を一定に保って貨物を輸送します。海上便はコンテナ内の温度が著しく上昇してしまうことがあり、温度管理が必要な品物の輸送には適さないと思われがちですが、冷蔵コンテナを使用することで品質を保ちながら輸送することができます。

※酒類以外も輸送可能です。

《申込～ニューヨーク　冷蔵混載輸送の流れ》

① 下記申込み・問合せ窓口まで、ご相談ください。
必要事項をご説明いたします。

② 貨物を搬入先まで輸送します。
【搬入先】：株式会社　松岡
（神奈川県川崎市川崎区東扇島88）

③ ５～６週間後にNY港に到着予定。

④ NYの保税倉庫エリア保冷設備にて保管。

⑤ 荷受人により搬出して輸送完了。

※ オプションとして集荷場所への輸送やNY倉庫からの輸送も提供可能です。

《申込み・問合せ窓口》（受託事業者（セイノーロジックス株式会社）内）
E-mail：slxusa@logix.co.jp
ULR：https://www.logix.co.jp/campaign/020

事業目的･概要

国税庁では、日本産酒類の更なる輸出拡大のために、物流における課題にも取り組む必要があると考えています。

特に、中・高価格帯の日本酒については、温度管理が重要であり、冷蔵混載輸送が有効な輸送手段となる一方、その航路は限られています。今回の実証調査では、ニューヨークまでの冷蔵混載輸送を行い、ニューヨーク市場への販路拡大や混載事業者の採算可能性について検証します。

参加条件

①酒類販売のため酒類を輸送する場合は酒類卸売業免許等を保有していること。
②国税庁が実施する**アンケート及びヒアリング調査に協力いただけること。**

輸送サービス概要

輸送形態：冷蔵混載輸送（5℃帯）
出発地：日本（横浜港周辺）
到着地：ニューヨーク都市圏
最低利用単位：１ケース～
価格（第２回目）：USD1,280/CBM
※２CBM(約2パレット相当)の最低料金が適用されます。
　価格は貨物量に応じてご相談いただけます。
　詳細等は申込み・問合せ窓口へお問合せください。

積載可能な貨物について（例）

- ✓ 酒類・飲料全般
- ✓ 菓子、スイーツ類
- ✓ 調味料
- ✓ そば粉・抹茶・乾燥粉類　等

FAQ

Q. 輸出経験がなくても参加可能ですか？

⇒**可能**ですが、**輸送対象貨物はFDA**（米食品医薬品局）**認証済みの飲食料品**です。

Q. 日本国内での集荷サービスはありますか？

⇒**ございます（オプション）**。詳しくは、申込み・問合せ窓口までお問い合わせください。

Q. ニューヨーク到着後の配送は可能ですか（ドアデリバリー）？

⇒詳しくは、申込み・問合せ窓口までお問い合わせください。

Q. 日本酒以外も輸送可能ですか？

⇒**可能です**。ただし、一部の食品、製品は輸送できない場合もございます。詳しくは、申込み・問合せ窓口までお問合せください。